

平成28年度

自己評価委員会報告書

於：平成28年11月～平成29年2月実施

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

28年度自己評価委員会報告書

日時：第1回：平成28年11月29日（水）10：30～12：30

第2回：平成29年 2月 8日（水） 10：00～12：00

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者名：(学園) 長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山就職部主任

(学校) 百瀬校長・小原教務主任

【審議検討決定事項】

第1回目：27年度自己点検・自己評価

28年度重点目標について

《重点目標》

- ・オープンキャンパスの充実
- ・進路ガイダンスのマニュアルを作成
- ・教育内容の充実・授業内容の見直し
- ・国家試験100%・資格取得率の向上
- ・情報公開・HPの充実

第2回目：評価項目については、評価3以下の部分について、改善・見直していく。

1. 平成28年度自己点検・自己評価について

27年度自己評価をもとに、評価3以下を重点的に見直し、重点目標につなげていき、各項目ごとに分析し、改善したものを作成。

○改善ならびに課題

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

評価全体は4のため、大きく変える必要はなかったが、産学連携を具体化するために職業実践専門課程の認定取得のために各種の取組みを始めている。

基準2 学校運営

情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3→4
《改善》 情報システム化等による業務の効率化について、危機管理の一つとして、一斉メールの整備を行い始動している。	

基準3 教育活動

各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3
キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
《課題》 評価3以下の部分を改善していかななくてはならないが、30年度より単位制になることで改善できる部分のため、29年度においては現状維持のまま、実施していく。	

基準4 学修成果

資格取得率の向上が図られているか	3→4
《改善》国家試験・各種資格取得率については、100%近い好成績をおさめられているが、サービス検定・色彩検定の取得率が低い。	
退学率の低減が図られているか	4→3
《課題》松本校5名と昨年度より増えているため、評価4から3に下げた。今後、早い段階でのメンタルケアに努めていき、改善につなげていきたい →評価を数字で表せない部分があると思う。自分に都合の良い数字の出し方があるのでは。比較方法が難しく、しっかりと数字の出し方を整えておいた方がよいのでは。 全国平均退学率15% 本校5% (嶋村副理事長より)	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3→4
《改善》27年度より円滑に行なえている	

基準5 学生支援

学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3→4
《改善》インフルエンザ予防接種を校医の協力により、年1回実施	
保護者と適切に連携しているか	3→4
《改善》PTA会議を年2回行っている。	
卒業生への支援体制はあるか	3→4
《改善》就職部として各担任との協力体制が行なえている。就職支援制度の詳細をHPに公開し、学生・支援サロンに理解してもらえる取り組みを実施。卒業生に対する再就職支援についても、就職部を活用。	

基準6 教育環境

学外学習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3→4
《改善》修学旅行の実施・松本大学ファッションショー参加・パルコイベントなど、積極的に実施できている。	
防災に対する体制は整備されているか	3→4
《改善》一斉メールの導入。緊急時対応の飲料水・トイレ等の設置が出来ている。	

基準7 学生の募集と受け入れ

学生募集活動は、適正に行われているか	3→4
《改善》進路ガイダンスマニュアルを作成し、説明担当者全員の統一化。理容科再開にあたり、支援サロンとの協力体制。理容科・ビューティビジネス科独自のチラシ作成。 ビューティビジネス科特色づくりとして、ブライダルプランナーの導入	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
《課題》今まで以上に卒業生の情報を把握し、HPを活用し高校生向けのメッセージを作成していく。	

基準8 財務

財務情報公開の体制整備はできているか	3→4
《改善》27年度からHPの基本情報として学校の財務状況の公開を実施	

基準9 法令等の遵守

自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3→4
自己点検・自己評価結果を公開しているか	3→4
《改善》職員会にて全職員の理解を高め、自己評価委員の選出し、学校関係者委員を設立。HPでの閲覧が整備された	

基準10 社会貢献

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3→4
《改善》社会福祉学の授業等で積極的に実施できている。今後、高齢者対象のみでなく、小中学生への職業理解の場を増やしていきたい。	

(まとめ) 全体としては、27年度の反省をふまえ、改善する努力をし結果が向上したことは良い

○重点目標への取組みについて

重点目標1：学生募集活動の充実

オープンキャンパスの内容充実・進学説明会における統一のマニュアル作成・・・
29年度入学生数が30名増加という好結果を出すことが出来た

重点目標2：授業内容の充実

30年度単位制に向けて、教育内容の検討。シラバスを作成し、講師まかせではなく、担任も把握する体制にしていきたい
実習授業の指導方法統一・・・今まで以上に効率よく国家試験課題を習得させ、即戦力をつけられる人材育成内容の充実を図っていきたい

重点目標3：情報公開と就職指導の充実

問題なく、改善し取り組むことが出来ている

2. 29年度重点目標

重点目標① 授業内容の充実

重点目標② 教職員の指導力向上を図る 教育活動の評価をあげる

3. 職業実践専門課程認可に向けての今後予定

- ① 自己評価報告 理事会 平成29年4月10日
- ② 第1回学校関係者評価委員会 平成29年4月13日
- ③ 自己評価・学校関係者評価報告書HP・4月末日安で掲載

学校関係者評価委員会報告書
(平成28年度)

於：平成29年4月

学校法人長野県理容美容学園
松本理容美容専門学校

学校関係者評価委員会 報告書

1. 開催日時

第1回 平成29年4月13日（木） 13:30～15:30

2. 開催場所 松本理容美容専門学校 1階校長室

3. 委員

委員	所属企業・団体名	役職名	概要
遠山 一行	(有)大和インターナショナル	代表取締役	長野県内に理美容室6店舗 経営・講師として活躍 カラー協会長野ブロック長
三好 政明	(有)ミヨシ	代表取締役	材料商 長野県美容用品商業組合理事長 各種講習会実施
百瀬 昭江	松本理容美容専門学校	校長	
小原 一正	松本理容美容専門学校	教務主任	
吉川佐恵子	学校法人長野県理容美容学園	事務局長	
桐山 美奈	学校法人長野県理容美容学園	広報企画部長	

評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2 学校の特色は何か	4
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4

- ・本校は学校法人長野県理容美容学園として発足以来今日まで教育理念に基づいて学校教育を運営してきている。
「教育とは教える者教えられる者との関わりの中で、人を変える営みである」両者の関わりや、教育が人を変える事の環境であるか、人格・技術共に豊かに変貌できる全人的な教育であるかを常に問いかけ、それを目指しています。教える側の教職員も変わり得る資質を持ち、教えられる者と共に今よりも一歩前進を心掛け、素晴らしいセンスを創造的に先取りできる理容・美容師の養成を目指すこととしています。
- ・また、トータル美容として関連業界のニーズに合わせ、エステティシャンを目指す、ビューティビジネス科もキャリアに直結する実践的なカリキュラムで美をプロデュースできる人材を育成しています。また産学連携を具現化するために職業実践専門課程の認定取得のために各種の取り組みを始めています。
- ・環境整備、指導者の技術力向上に力を入れ、校舎内設備機器・施設、緑化整備等、また各種研修会、資格取得を行い抱負な技術力と人間性豊かな指導者が、業界等との産学連携で学生が即戦力となりうる技術を指導していきます。
- ・教育の方針を具現化し、笑顔・挨拶・感謝の気持ちを持ち「相手の気持ちに寄り添える」接客ができる学生を育てていく。一人ひとりの資質を伸ばし、安心と自信を持って学校生活を送れる環境をつくる。

[学校関係者評価・コメント]

・学園理念に書かれているように、時代と共に変わりうる資質を先生方には発揮して頂き、業界のニーズに合わせた学生の育成をお願いしたい。

評価項目	評価
2-4 運営方針は定められているか	4
2-5 事業計画は定められているか	4
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4
2-8 意思決定システムは確立されているか	4
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

- ・学校の運営方針は明確に定められており、各種規定も状況に応じて検討を行っている
- ・事業計画にあたっては、学生、業界のニーズに基づき、取り組むべき施策や解決すべき課題を明確にして作成している。事業の進捗状況は常任理事会、理事会にて報告されている。校舎整備にあたっては、外壁の改修、空調整備を行い、学生がより快適に学修出来る環境を整備している。
- ・理事会・評議員会は当法人の規定により明確に位置づけられ、定期的に会議を開催して、事業計画に従って業務を遂行し有機的に連携し機能している。
- ・就業規則は整備されているが、今後の学生数の増減に伴う採用計画や配置など定期的に見直す必要がある。
- ・学生成績管理のシステム一元化は平成16年より開始、学生情報の合理化も出来つつある。
危機管理の一つとして、一斉メールの整備を行い始動している。

[学校関係者評価・コメント]

- ・学校運営は、学園の理事会・評議員会などとの連携で、事業等明確に進められている。

評価項目	評価
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3
3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	4
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3
3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3
3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	3
3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
3-18 資格取得の指導体制はあるか	4

- ・教育目標を教職員全員が理解し、意識統一がされている。まずは国家免許資格取得が大前提であり、指導・支援体制を確立させ、一人ひとりの学生の理解度・習熟度を確保の上個々のレベルに合わせた指導体制をとり、将来の目標をしっかりと持たせその実現に向けて主体的に臨める支援を行っている。
- ・現在の業界の多岐にかつ多様に渡っている技術レベルに合わせ、各技術の基本を勘案しカリキュラム編成を行っている。知識・技術の修得と人間性も総合的な人材レベルに合わせた目標が明確に定められている。
- ・必修選択科目の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」即、戦力となりうる技術の強化などの充実を図る。
- ・カリキュラムは資格取得を柱とし、毎年カリキュラムの一部を改変し、より充実した内容へと努めている。通常の授業に加えてより幅の広い「一般教養」「社会人基礎力」並びに「より高度な専門技術と資格を取得する」の目的で課外授業である「専攻科」を選択できる。
 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正に位置づけていると考えている。
 各科目の詳細な授業内容については、理解度を高める為と成績評価に不平等差が出ないよう学生の学力や属性によって平均的なクラス分けを実施している。
 キャリア教育は1.2年で各5日ずつ実務実習としてサロンでのインターンシップを実施している。
 実行性はサロンからの評価で検証されるが、各サロンの評価基準差で正確な分析はできない。
 しかし、この機会が学生達にとっては次につなげる要素となっていることと思われる。
- ・常勤教員・非常勤教員ともに専門性を発揮し、授業レベルの更なる向上を目指し、工夫を凝らし手厚い指導体制を整備している。

[学校関係者評価・コメント]

- ・教育目標を教職員が理解し、特にカリキュラムにおいては、業界の多様に渡る技術を考慮しつつ「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」にも力を注いでもらいたい。

基準4 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
4-19 就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4
4-20 資格取得率の向上が図られているか	3
4-21 退学率の低減が図られているか	3
4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

- ・就職先の対象がほとんど美容関連業界に限定されるため、学生、就職指導担当者ともに把握し易く、就職率の向上も図り易い。「即戦力として社会に通用する人材の育成」を目標として本校の教育システム＝就職内定というラインが確立されている。
- ・本校の教育方針は、「資格取得」を大きな柱としており、国家試験では毎回高い合格率を出している。他の各種資格の合格率からも一定の成果と評価を得ている。今後はさらなる資格取得率の向上を目指し、新たな対策で改善を図っていく。
- ・クラス担任制の導入・学年別行事・個人面談などを実施し、学習意欲の維持、向上及び早い段階のメンタルケアに努めている。
- ・卒業生の動向については、来校しての情報提供、元担任からの報告、業界誌掲載の情報業界競技会の結果などから、多くの社会的活躍が伝えられている。

[学校関係者評価・コメント]

- ・国家試験においては、高い合格率を出しているが、資格は必須なので全員合格を目標に新たな対策を図ってほしい。

基準5 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
5-23 就職に関する体制は整備されているか	4
5-24 学生相談に関する体制は整備されているか	4
5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
5-29 保護者と適切に連携しているか	4
5-30 卒業生への支援体制はあるか	4

- ・就職部を設置しており、クラス担任との連携で各々の就職活動支援を行っている。
自己の将来目標を明確にさせ、それに準じたサロン選びから詳細に渡り相談、サポートし、就職後の離職回避に繋げている。
就職活動参考レジメ（面接方法・履歴書記入方法等）を各担任に配布している。
- ・就職支援制度の詳細をHPに公開し、学生・支援サロンに理解してもらえる取組を実施している。
- ・進路・経済的理由・学業・友人関係など様々であるが、まず信頼関係がある担任が相談にのること、場合によっては心理学外部講師の力を借りて連携で解決に導いている。
- ・各種奨学金制度に関する概要説明書類を整備して、個々の事情に応じて、個別対応している。

- ・オープンキャンパス時に、保護者説明会を実施し細かい学費・奨学金の説明を行なえている。
- ・1学年を対象に毎年1回の定期検診を実施しており、異常が確認された場合は個別対応している。
また近隣の個人医院と連携して、日頃から学生の健康管理に日頃から気配りをしている。
インフルエンザの予防接種を積極的に促している。
- ・本校は遠隔地出身者のために学生寮が整備され、地元のアパート業者との情報から無理のない家賃で希望者全員を受け入れる環境が整っている。
- ・保護者との連携は大変重要であると認識している。欠席の多い学生は多々問題を抱えている事が多いため、電話連絡、来校、三者面談等により学生の現状提供、疎通を計り学生のサポートを行っている。月1回の専任カウンセラーによる相談機会を設けている。
- ・各クラス1名の保護者代表によるPTA会議を年2回行っている。
- ・卒業生の再就職支援についてフォローアップする体制は整っている。
- ・基本的に卒業生は卒業後も就職相談室を利用するため、相互の意見を聞くことが出来、問題解決することができている。
- ・内定時に、労働条件通知書を提出してもらっているため、就職後、諸問題発生時に参考にして円滑に解決することが出来ている。

[学校関係者評価・コメント]

- ・特に就職に関しては、サロンと学生双方が明確な労働条件等により、良い就職へ繋がるのが望ましい。

基準6 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
6-32 学外学習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-33 防災に対する体制は整備されているか	4

- ・学校の施設・整備・設置基準は充分満たしている。学校環境を良くすることの中には、施設設備だけでなく、敷地内に多くの緑地化を進め、自然環境も含めより学生が落ち着いた学校生活がおくれる配慮をしている。
- ・外装補修工事、エアコン付け替え工事を行った。
- ・学外実習、実務実習及び来校実習などは、学生の参加意欲も高く、学習の動機付けとしての効果も高い。カリキュラムの中の授業時間など勘案し、機会を広げていきたい。
実務実習では業界からは高い評価を得ており、学生の事後アンケートから実績、教育効果を確認している。
- ・防災については、年間1～2回防災訓練実施、学校の防災対策組織ができており、防災設備の定期点検、下校後の担当者による点検、また学内の事故に備えて、学生災害傷害保険に加入している。
- ・1年次秋に美容業に必要な美意識、接客意識向上につながる、修学旅行を行っている。
- ・松本大学学園祭ファッションショーのヘアメイクに参加している。
- ・パルコイベントに参加している。
- ・緊急時の一斉メール配信システムの導入。
- ・緊急時対応の飲料水、トイレ、防寒シートの設置。

[学校関係者評価・コメント]

- ・学校の施設・設備について定期的な保守点検・改修工事が行われていた。

基準7 学生の募集と受け入れ

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	4
7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
7-37 学納金は妥当なものとなっているか	4

- ・学生募集には専属の担当者を置き、募集広報は誇大な表現を避け事実を正確に伝え、真実性、明瞭性、公平性に基づき、募集を行っている。
- ・各科の具体的説明において、説明担当者全員が同様の見解で説明できる進路ガイダンスマニュアルを作成している。
- ・理容科再開にあたり、地元の学校支援サロンに協力してもらい、オープンキャンパス時にサロンオーナーから実習体験を実施している。
- ・ビューティビジネス科の新しい魅力を発信するために、新カリキュラムを導入（ブライダルプランナー）
- ・理容科・ビューティビジネス科について高校生に職業理解をしてもらうため、各科独自のチラシを作成しオープンキャンパス・進路ガイダンス時に配布し説明している。
- ・オープンキャンパス、学校見学を随時行い、保護者向けの説明会も開催している。
- ・卒業生の活躍は在校生にとって現実性があり、具体的目標にもなっている。卒業生が来校したとき活躍する現状報告、技術展示など在校生との関わり情報収集の機会となっている。
- ・卒業生の情報（本人の学校生活・目標の持ち方・職業の魅力等）を、今後HPを活用し卒業生から高校生に向けたメッセージを作成していく。
- ・入学考査は適正・公平に行われており、入試合格者はほぼ100%である。
- ・学納金は妥当なものになっており入学辞退者への返還なども適正に処理をしている。

[学校関係者評価・コメント]

・コメントなし

基準8 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
8-40 財務について会計監査が適正に行われているか	4
8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	4

- ・財務経理は税理士事務所から指導を受けて改善に努めており、当学園並びに本校の財務状況は安定しているといえる。
- ・財務面での処理については、正確な会計処理が実施される。予算計画に基づき妥当に執行されるように確認し行われ、適切な予算配分で行っている。
- ・私立学校法に基づき、当法人監事が監査を行い理事会、評議員会に報告をしている。
- ・財務情報公開の体制は整っており、寄附行為の規定に基づき閲覧ができる状況である。
- ・平成27年度からホームページの基本情報として学校の財務状況の公開を行っている。

[学校関係者評価・コメント]

・コメントなし

基準9 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか	4

- ・法令並びに専修学校設置基準が遵守され、適正な運営がなされている。
理事会、評議員会、そのほか各委員会等を適宜開催し、学校運営の充実を図っている。
- ・個人情報保護に関する規定に基づき運営がされている。学校が保有する個人情報は目的以外に一切使用していない。
- ・自己点検、評価の報告を職員会の議案として、全職員への理解を高める機会とした。
- ・自己評価委員の選出を行い、評価を精査し学校関係者委員を設立した。
- ・ホームページにて閲覧可能な機能が整った。
- ・専門課程の職業実践専門課程の認定取得を目指す。

[学校関係者評価・コメント]

・コメントなし

基準10 社会貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3

- ・CO2等の環境問題、高齢化などの社会問題は本校の教育課程のうえで必要不可欠なものであり、まず美化・清掃といった身近な問題から薬物問題まで、生活習慣・倫理観などは絶えず啓蒙活動を行っている。
- ・年1回本校において献血、在校生の約4分の1程度の協力者がいる。高齢化社会における高齢者の特徴を学習したうえで、社会福祉施設で高齢者対象の美容ボランティアを年3回実施、利用駅から校舎近隣までの清掃を実施している。

[学校関係者評価・コメント]

・職業を通じてのボランティア参加は学生たちの力になると思われるので継続して欲しい。

1 重点目標1について

学生募集活動の充実

- ①来校者に魅力を伝えるオープンキャンパスの企画
- ②進路説明会における統一マニュアルの作成

【 実施報告・課題 】

- ① オープンキャンパスにおけるイベント企画として、クリスマスイベントを行った。通常の実習体験に加え、在校生主催のビンゴゲームやクリスマスの飾り付け等。参加した来校者に楽しんでいただける機会となった。
- ② 学科ごとに特徴を掴んだ、明確で説明する側の統一できるものを作成した。(別紙)

【 学校関係者評価・コメント 】

学生募集について、新しい取り組みが成果を出す結果となるよう期待する。

2 重点目標2について

授業内容の充実

- ①平成30年度単位制への教科検討とシラバスの作成
- ②実習授業における指導方法の統一

【 実施報告・課題 】

- ①単位制教科の検討ではメイク、ネイル、パーマ、セットの2年次選択授業を取り入れる。また、ヘアカラー協会との連携によるヘアカラー資格が取得できる体制を整えている。現状の色彩検定からパーソナルカラー検定へ教科内容の見直しを行っている。嘱託講師との連携を高め、各教科のシラバス作成に着手している。
- ②実習授業においても、教科ごとのシラバスを作成して指導方法の統一に着手している。

【 学校関係者評価・コメント 】

サロンのニーズを勘案して、授業の中に取り入れていかれることに業界からも応援したい。

3 重点目標3について

情報公開と就職指導の充実

- ①職業実践専門課程認定への取り組み
- ②自己評価報告書のホームページ上公開
- ③就職内定サロンによる「労働条件通知書」の提出と管理

【 実施報告・課題 】

- ①認定取得に向けて、各認定要件に取り組み始めた
- ② 28年11月末に、27年度の自己評価並びに基本情報をホームページに掲載した
- ③ 雇用側、被用側(学生)との労使間で明確な労働条件を交わすことで、就労後の諸問題減少に寄与する。(別紙)

【 学校関係者評価・コメント 】 コメントなし